

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課

担当名: 推進担当

内線: 3776

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B24	ロボットプロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	平成27年度～平成30年度	根拠法令	なし				宣言項目	08	稼ぐ力の向上	
							分野施策	040831	新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>将来の成長が見込まれるロボット分野の研究開発に取り組み、実用化・製品化に結び付けることで新たな産業を創造・育成する。</p> <p>(1) ロボット研究開発支援事業 △5,202千円 交付対象事業の申請額が当初見込みを下回ったことによる減額</p> <p>(2) 産学連携研究開発プロジェクト事業 △663千円 事務経費の節減により生じた執行残の減額</p> <p>(3) ロボット部会運営事業 △435千円 開催数が当初見込みを下回ったことによる減額</p> <p>(5) ドローンビジネス支援事業 △337千円 セミナー開催数が当初見込みを下回ったことによる減額</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ロボット研究開発支援事業 107,397千円 (ア) ロボットビジネスコンソーシアム運営事業 産学官による情報共有や交流の場である交流会を開催する。 (イ) 研究開発支援事業 企業等のロボット開発を支援するため、補助事業等を実施する。 (ウ) 販路開拓事業 開発したロボットの販路開拓を支援するため、出展スペースを提供する。</p> <p>イ 産学連携研究開発プロジェクト事業 104,144千円 (ア) 大学等による研究開発 大学や産業技術総合研究所等が県内企業と連携した研究開発を支援する。 (イ) 埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)による研究開発 SAITEC主導で企業との研究開発を実施する。</p> <p>ウ 先端産業研究サロン ロボット部会運営事業 1,030千円 大学、研究機関、シンクタンクなど、ロボット分野に関係する部会員で構成された部会でロボットプロジェクトの推進方針や研究開発の検証・評価を実施する。</p> <p>エ ロボット人材育成事業 7,075千円 (ア) ロボットの要素技術を講義や実習を通して学び、ロボット開発のための人材を育成する。 (イ) ロボットビジネスに必要な知識を学ぶ講座を実施し、事業化に向けた人材を育成する。</p> <p>オ ドローンビジネス支援事業 3,545千円 県内企業が行うドローンを活用した事業の創出等を支援する。</p> <p>(2) 事業計画 交流会・研究会の運営、研究開発支援、部会開催</p> <p>(3) 事業効果 ロボット分野の研究開発を進めることで、本県にロボット関連の人材や技術を結集し企業集積につなげる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (公財)埼玉県産業振興公社や産業技術総合研究所、県内大学等と連携して事業を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア ロボット研究開発支援事業: 交付対象事業の申請額が当初見込みを下回ったことによる減額</p> <p>イ 産学連携研究開発プロジェクト事業: 事務経費の節減により生じた執行残の減額</p> <p>ウ ロボット部会運営事業: 部会の開催回数が当初見込みを下回ったことによる減額</p> <p>オ ドローンビジネス支援事業: セミナーの開催回数が当初見込みを下回ったことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	諸収入							
決定額	△6,637	△6,439	△198					0	216,554	
現計額	223,191	222,628	563					0		